

Zabbix

エージェントインストール手順書

[Linux & Windows]

1. Linux サーバーへのインストール

1.1 dnf・yum を利用したインストール

監視対象サーバーがインターネットに接続されていることを確認し、Zabbix のリポジトリを登録し、リポジトリからパッケージを指定し、インストールを行います。

1. Zabbixリポジトリの登録

以下のコマンドで、Zabbix リポジトリの登録を行います。

■ RHEL8 互換 OS の場合

```
# rpm -Uvh https://repo.zabbix.com/zabbix/5.0/rhel/8/x86_64/zabbix-release-5.0-1.el8.noarch.rpm
```

■ CentOS7 の場合

```
# rpm -Uvh https://repo.zabbix.com/zabbix/5.0/rhel/7/x86_64/zabbix-release-5.0-1.el7.noarch.rpm
```

■ CentOS6 の場合

```
# rpm -Uvh https://repo.zabbix.com/zabbix/5.0/rhel/6/x86_64/zabbix-release-5.0-1.el6.noarch.rpm
```

以下のメッセージが表示されれば登録成功です(AlmaLinux8の例)

```
Retrieving https://repo.zabbix.com/zabbix/5.0/rhel/8/x86_64/zabbix-release-5.0-1.el8.noarch.rpm
warning: /var/tmp/rpm-tmp.5nDqhw: Header V4 RSA/SHA512 Signature, key ID a14fe59
1: NOKEY
Verifying... ##### [100%]
Preparing... ##### [100%]
Updating / installing...
 1:zabbix-release-5.0-1.el8 ##### [100%]
```

2. キャッシュの削除

サーバー内に古い rpm が存在していると問題が発生するためキャッシュを削除します。

■ RHEL8 互換 OS の場合

```
# dnf clean all
```

■ CentOS7 / 6 の場合

```
# yum clean all
```

実行後以下のメッセージが表示されます(AlmaLinux8 の例)

```
# dnf clean all
*** files removed
```

3. Zabbixエージェントをインストール

dnf・yum コマンドにて Zabbix エージェントのインストールを行います。

■ RHEL8 互換 OS の場合

```
# dnf -y install zabbix-agent
```

■ CentOS7 / 6 の場合

```
# yum -y install zabbix-agent
```

以下のメッセージが表示されればインストール成功です(AlmaLinux8 の例)

```
AlmaLinux 8 - BaseOS                5.2 MB/s | 5.2 MB    00:01
AlmaLinux 8 - AppStream              9.8 MB/s | 11 MB    00:01
AlmaLinux 8 - Extras                 22 kB/s | 19 kB     00:00
AlmaLinux 8 - PowerTools             2.8 MB/s | 3.1 MB   00:01
(略)
Installed:
  zabbix-agent-5.0.32-1.el8.x86_64

Complete!
```

1.2 Zabbix エージェントの設定ファイルを修正

Zabbix エージェントを有効に機能させるためには、設定ファイルの修正が必要となります。vi エディタ等を利用し zabbix-agent の設定ファイル「/etc/zabbix/zabbix_agentd.conf」内にある下記の箇所を編集し修正追記します。

```
# vi /etc/zabbix/zabbix_agentd.conf
```

1. 変更前の状態

```
Server=127.0.0.1
ServerActive=127.0.0.1
Hostname=Zabbix server
```

2. 変更後の状態

```
Server=54.95.76.82
ServerActive=54.95.76.82
Hostname=Zabbixホスト名
```

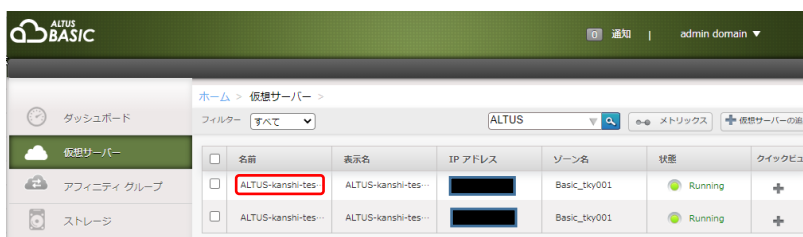
Hostname=Zabbixホスト名 の文字列は

「ALTUS-[ALTUSポータルのお客さまログインID]-[監視対象の仮想サーバー名]」としていただくようお願いいたします。

例) ALTUS-IL123456789-webserver

仮想サーバー名は ALTUSコンソール上の 仮想サーバーの「名前」（もしくはALTUSポータル上の「仮想サーバー名」）からご確認ください。

■ALTUSコンソール画面



■ALTUSポータル画面

Basicシリーズ
設定管理

仮想サーバー 合計 115 台 表示項目選択 ▼

状態	ゾーン	仮想サーバー	ディスク	プラン	IPアドレス	セキュリティグループ	テンプレート
●	Basic_kky001	ALTUS-kanshi-test-basic 1vCPU / 2GB Memory	100GB	Custom Server(SSD)	159.122.109.213	ALTUS_kanshi_test	CentOS 7.7 with Plesk Obs idian 20191107
●	Basic_kky001	ALTUS-kanshi-test-basic-win 2vCPU / 2GB Memory	100GB	Custom Server(SSD)	159.122.99.200	ALTUS_kanshi_test	Windows 2019 Standard E dition JP x64 20191021

3. Zabbix エージェントのサービスを再起動します。

■ RHEL8 互換 OS/ CentOS7 の場合

```
# systemctl restart zabbix-agent
```

■ CentOS6 の場合

```
# /etc/init.d/zabbix-agent restart
```

1.3 Zabbix エージェント 起動設定

Zabbix エージェントを起動時に動作する設定をします。

1. サーバー再起動時に zabbix エージェントが自動起動するように設定します。

■ RHEL8 互換 OS / CentOS7 の場合

```
# systemctl enable zabbix-agent
```

■ CentOS6 の場合

```
# chkconfig zabbix-agent on
```

2. 登録確認

■ RHEL8 互換 OS / CentOS7 の場合

```
# systemctl is-enabled zabbix-agent
```

enabled 応答であることを確認

```
enabled
```

■ CentOS6 の場合

```
# chkconfig --list zabbix-agent
```

「2:」～「5:」が「on」となっていることを確認

```
zabbix-agent 0:off 1:off 2:on 3:on 4:on 5:on 6:off
```

1.4 ファイアウォール設定変更

OSで通信制限をしていない場合はこちらの項を実施する必要がありません。

Zabbix監視では

IPアドレス「54.95.76.82/32」

ポート「TCP 10050」を利用しますので

ファイアウォールにて 上記ポートの許可設定をお願いいたします。

Zabbix-Agent のインストール及び設定は以上です。

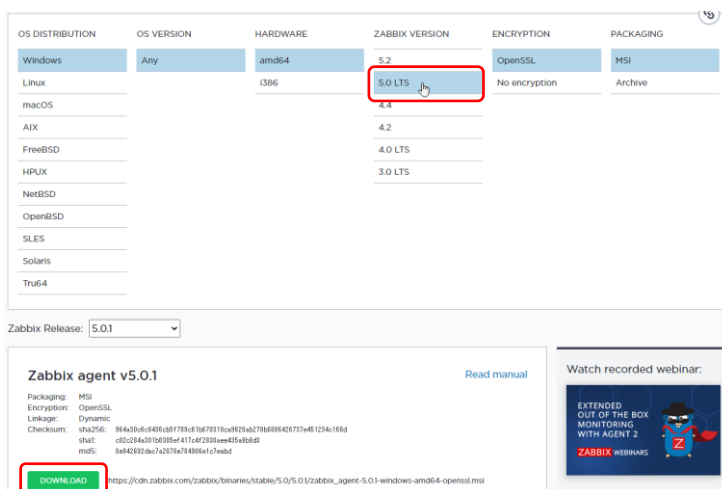
2. Windows サーバーへのインストール

2.1 WEB ブラウザからパッケージの入手

監視対象サーバーがインターネットに接続されていることを確認し、インストーラーを WEB サイトからダウンロードします

以下の URL からインストーラーをダウンロードします

https://www.zabbix.com/download_agents



5.0.X の安定版（5.0 LTS）をクリックし、MSI ファイルをダウンロードします。

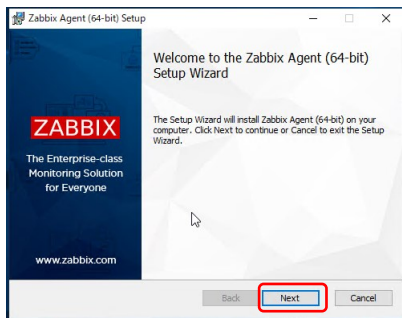
例

zabbix_agent-5.0.1-windows-amd64-openssl.msi

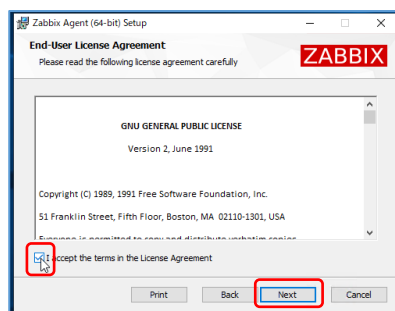
2.2 パッケージからのインストール

Windows 上の MSI ファイルを実行し Zabbix エージェントをインストールします。

1. MSI インストーラーを実行します。
2. ウィンドウ下部の「Next」を押下します。



3. 規約を承諾にチェックを入れて「Next」を押下します



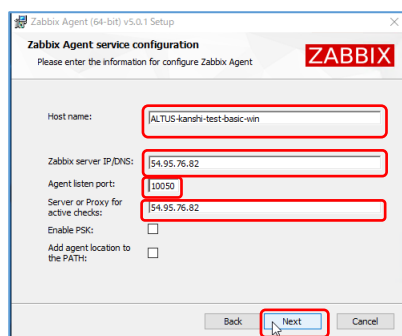
4. 監視対象の情報を記入し次へ「Next」を押下します。

【Host name】 Zabbixホスト名

【Zabbix server IP/DNS】 54.95.76.82

【Agent listen Port】 10050

【Server or Proxy for active checks】 54.95.76.82



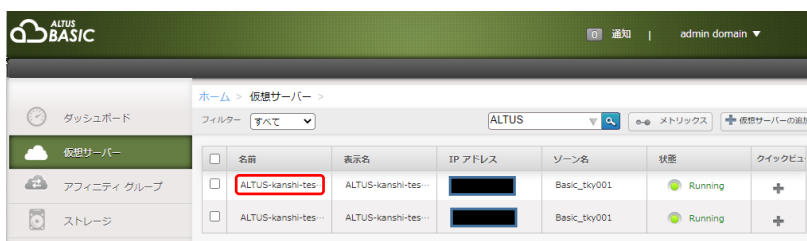
Host name =Zabbixホスト名 の文字列は

「ALTUS-[ALTUSポータルのお客さまログインID]-[監視対象の仮想サーバー名]」としていただくようお願いいたします。

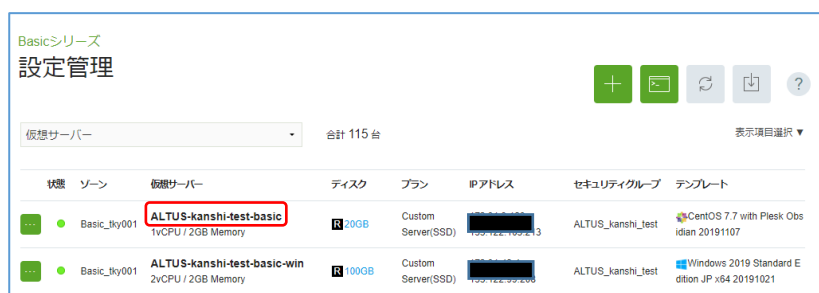
例) ALTUS-IL123456789-webserver

仮想サーバー名は ALTUSコンソール上の 仮想サーバーの「名前」（もしくはALTUSポータル上の「仮想サーバー名」）からご確認いただけます。

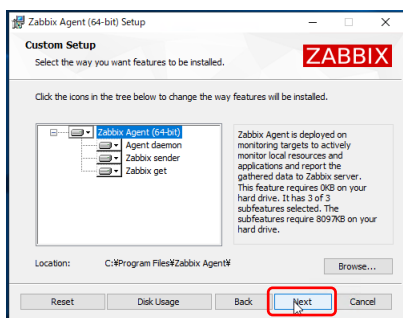
■ALTUSコンソール画面



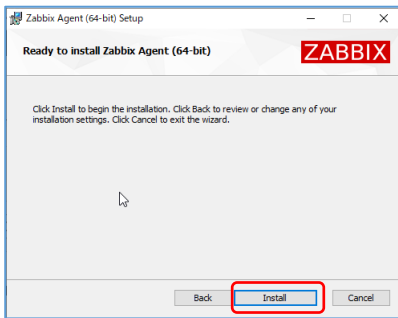
■ALTUSポータル画面



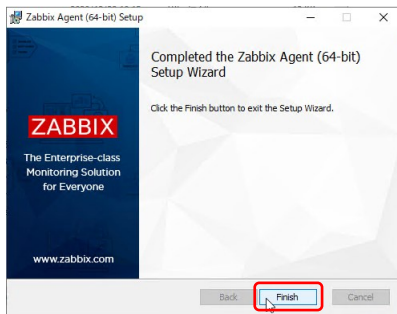
5. インストールディレクトリは、デフォルトのままを次へ「Next」を押下します。



6. 画面下部の「Install」を押下してインストールを実行します。



7. インストールが完了を確認後、【Finish】を押下します。



2.3 Windows ファイアウォールの設定

OSでポートの通信制限をしていない場合はこちらの項を実施する必要がありません。

Zabbix監視では

IPアドレス「54.95.76.82/32」

ポート「TCP 10050」を利用しますので

ファイアウォールにて 上記ポートの許可設定をお願いいたします。

Zabbix-Agent のインストール及び設定は以上です。